

高橋香樹会長担当 半紙臨書課題

(8月22日締切) 出品料440円

忠義堂帖・顔真卿

第一回
1、字句 裴將軍



2、形式 半紙タテ使用。右に「裴將」左に「軍」と臨書し、左

余白に落款「○○臨」と書き入れる。

3、概観 顔真卿、字は清臣。長安の人で「平原太守」に任ぜられた為、「顔平原」と称され、また「魯郡国公」に封ぜられたので「顔魯公」ともいわれる。

歴代の書家の中で、顔真卿ほど多くの作例を伝える能書家は例を見ない。楷書では、「多宝塔碑」(四十四歳)。

「東玉朔画賛碑」(四十六歳)。「麻姑仙壇記」(六十三歳)。「顔勤礼碑」(七十二歳)。「顔氏家廟碑」(七十三歳)。「建中告身帖」(七十二歳)等、行草書では、「祭姪文稿」(五十歳)。「祭伯文稿」(五十歳)。「争座位文稿」(五十六歳)をはじめ多くの作が伝えられている。

4、各字のポイント
裴 厚みのある筆線による。「非」は強弱の変化あり。楷書表現による。

將 △部三ヶ所で筆の面を変える。草書。

軍 六本の横画は太細の変化。収画の懸針は一気に引き切っている。

一字書課題

(八月二十二日締切)

株

(1)書体自由 (2)半紙タテ

(3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる

(4)出品料 四四〇円

(5)バーコード券の余白に「一字書」と記入

条幅随意参考



大君制六合。猛將清九垓。戰馬若龍虎。

※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部(無料)にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

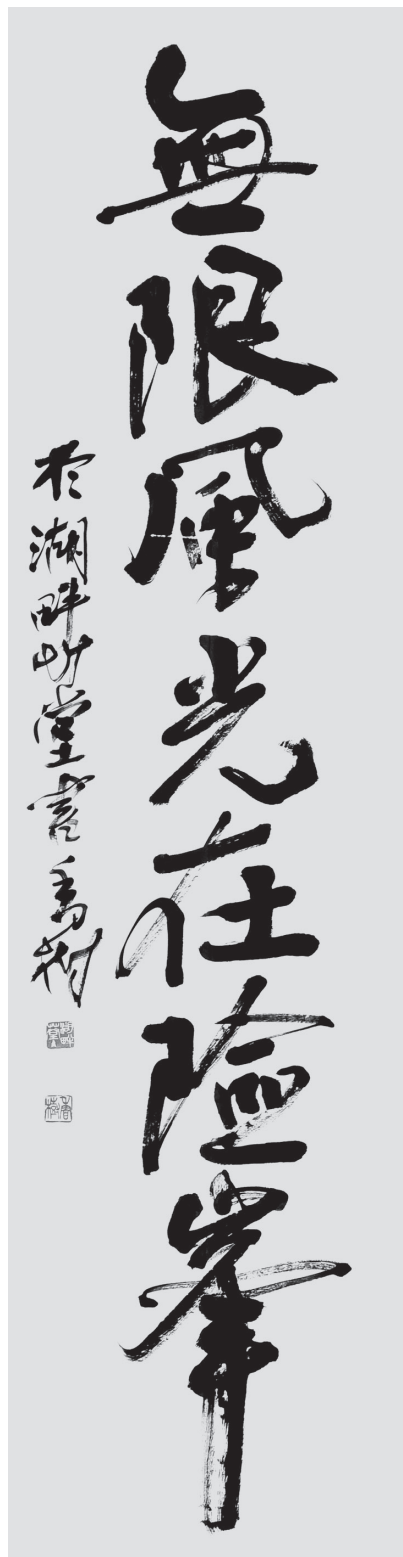
七月二十二日締切
研究部課題補足

六月号掲載(7月22日締切)の研究部課題で、臨書課題の拓本に欠けている部分がありました。一行目の末尾「賢」の七画目は、左の図のように横画として臨書してください。



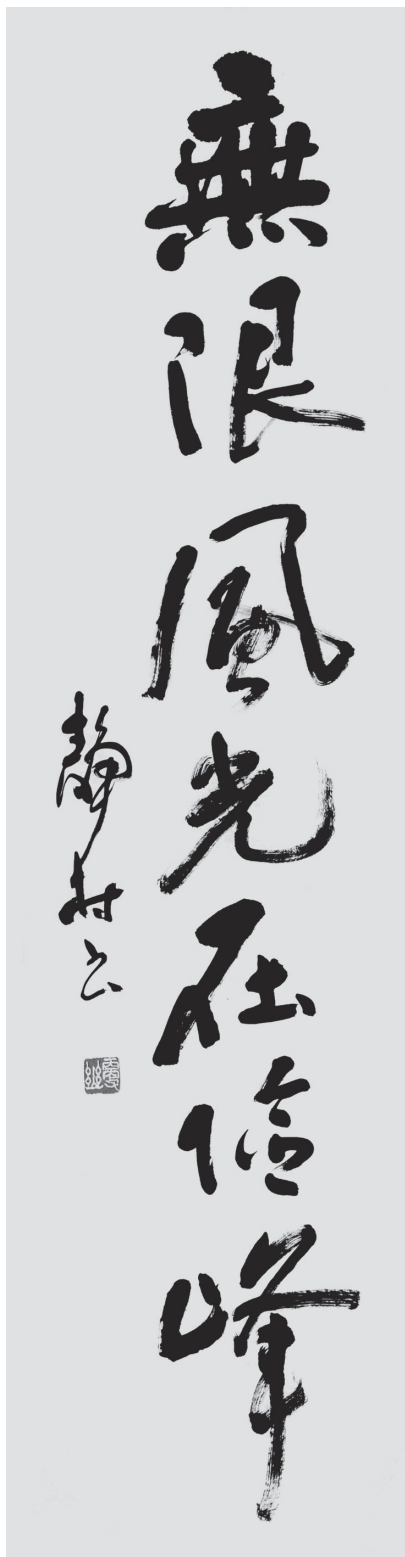
A 高橋 香樹 会長書

無限風光在險峰(毛澤東)
無限の風光險峰に在り。



B 鈴木 静村 先生書

半切に七字一行書です。半切十四字の場合は、一行目八字、二行目六字にするのが一般的ですが、それを考えると、一行七字は、工夫が必要になってくるかと思えます。そこで、今回は行書単体作とし、そこに、木簡の要素を少し加えてみました。



無 “連火” 四点、大小・筆意に変化の工夫を。限 “こざとへん” の二文字(限、險)を念頭において表出に配慮を。末画の払いを長めに突出。風 風構えを強く大きく脈絡、内部は引き締める。光 第一画斜めに入り、末画は下辺円弧を描き、上方に払う。在 墨継ぎ。第一、二画を続ける書き方は古典にあり。点は打たなくてもよい。險 “こざとへん” については前述。旁も草書体。峰 旁の三画目平らに。末画はのびやかに。訳：険しい高い峰にこそ、この上ない美しい景色がある。

予告 昇試第一部漢字(九月二十二日締切)

清霜碧澗松聲靜

急雨丹峰鶴唳多(吳兆騫)

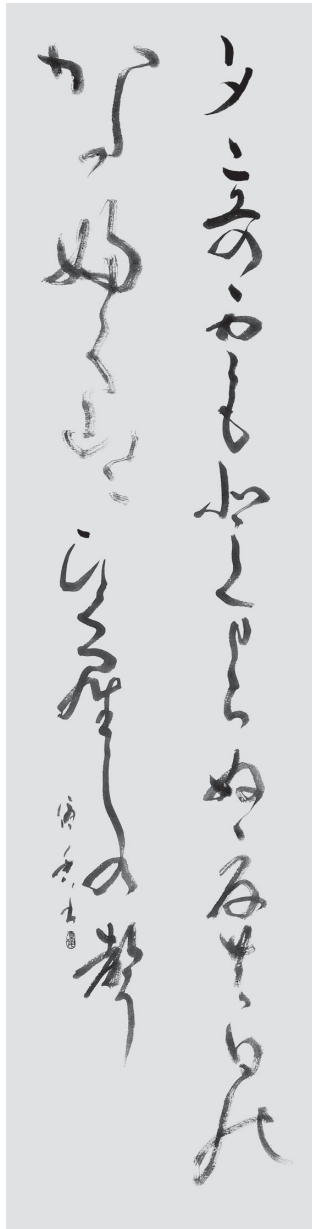
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

学び方

- 歌意：夕立を降らせた雲はもう消えてなくなり、夏の夕日が沈んでいく山にはひぐらしが鳴いていることだ。
 作品について
 ○この歌は、新古今和歌集に採られています。時間帯によって情景が変わる夏の終わりを表した一首です。全体にスッキリとした味わいのある作品にしたいと思いました。
 ○単調にならないように、太・細やアケ・ツメ等で、動きを出すように心掛けました。
 ○墨継ぎは「ひ」。その後は重くならないよう出来るだけ引き締める気分で収めました。
 ○墨量や墨色を工夫し、一行目と二行目の潤濁が効果的に表現できて、紙面の白が美しい作品にしたいものです。

予告昇試第一部かな(九月二十二日締切)

深草の露のよすがを契にて里をばかれず秋はきにけり(新古今和歌集 撰政太政大臣)

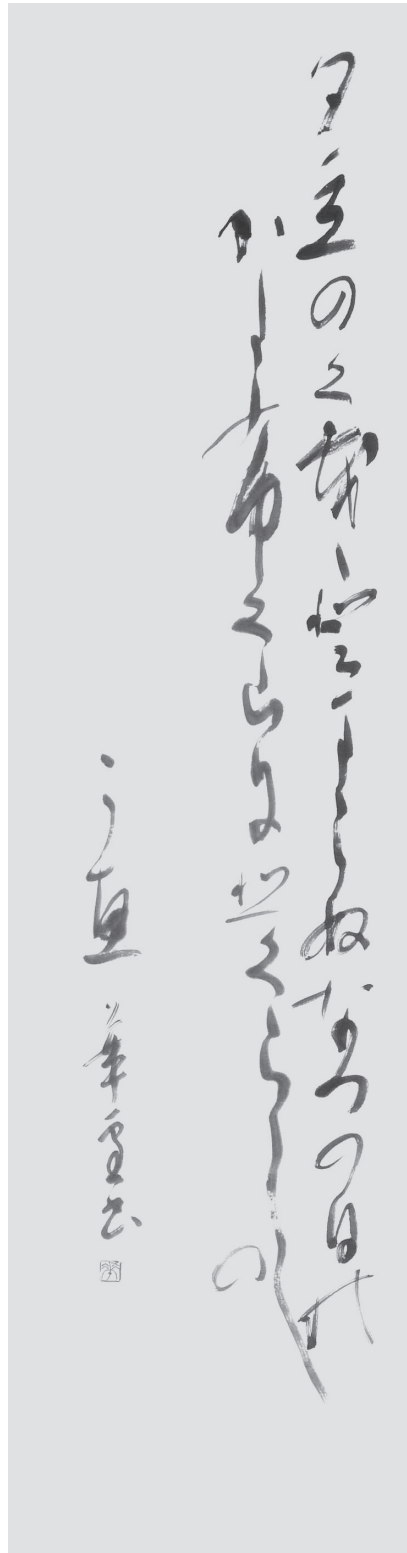


式子内親王(しよくし又は、しきしないしんのう)。一一四九年〜一二〇一年。後白河天皇の第三皇女。母は藤原成子で、守覚法親王・亮子内親王・高倉宮以仁王は同母兄弟。高倉天皇は異母弟にあたる。萱齋院、大炊御門齋院とも呼ばれた。新三十六歌仙、女房三十六歌仙の一人。後に剃髪し、法号承如法となる。

B

本澤優香先生書

夕立の雲も登方らぬ夏農の日能か多婦久山二ひ久羅し乃聲



A

平岡華雪先生書

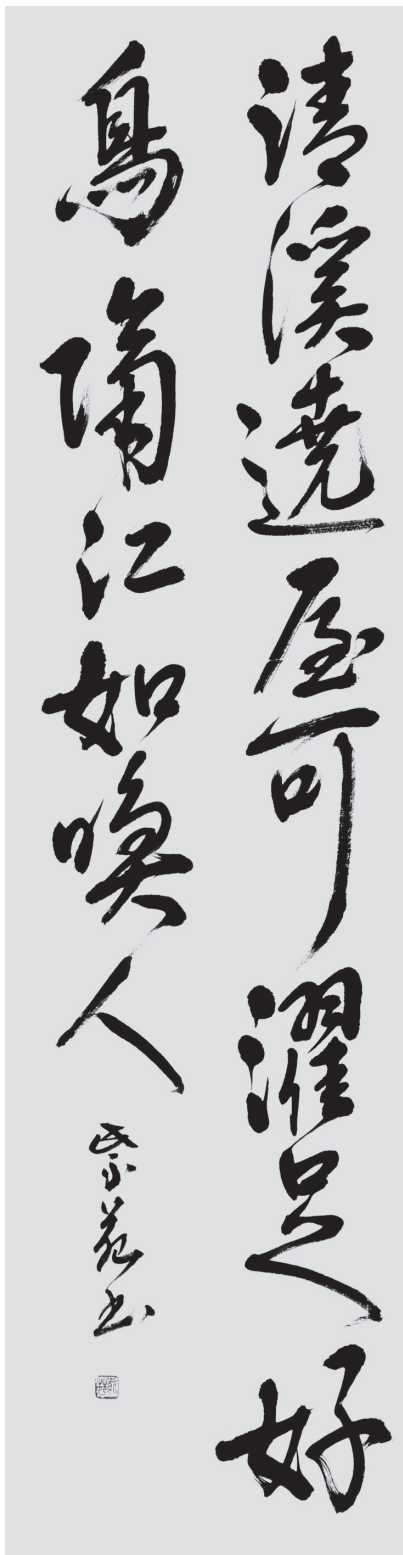
夕立の雲もとまらぬ夏の日のかたぶく山にひぐらしの聲(新古今和歌集 式子内親王)
 夕立の久茂、登方らぬなつの日能か多布久山尔悲久らしのこ恵

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部 随意参考

山田紫苑先生書

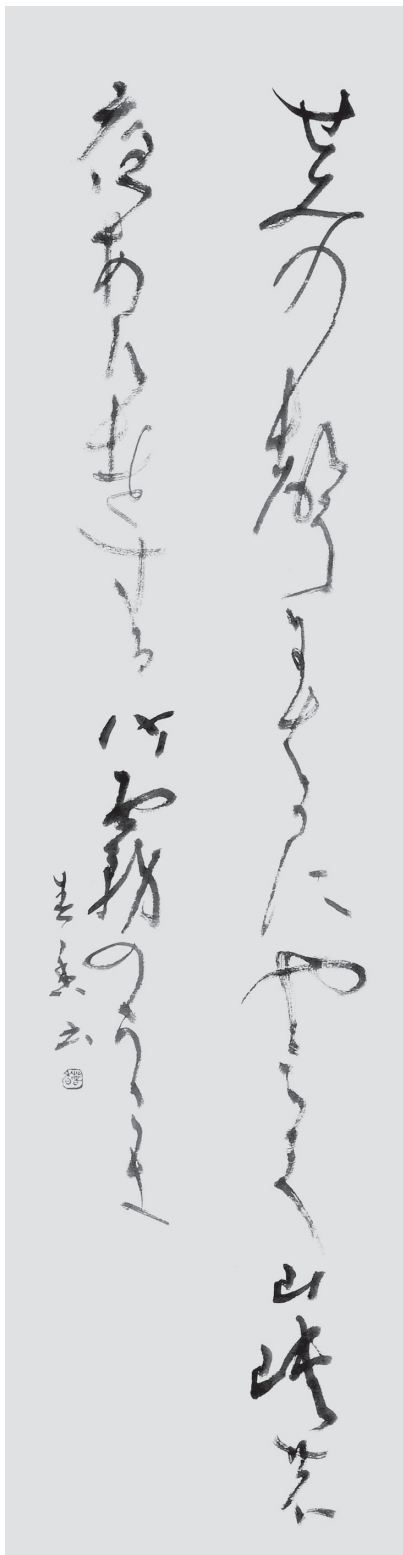
清溪遠屋可濯足 好鳥隔江如喚人 (李質)
清溪屋を遠り足を濯う可く、好鳥江を隔て人を喚ぶが如し。



訳：家をとりにまく清き谷川の水は世を忘れるに足り、川をへだてて鳴く鳥は人を呼ぶかとも思われる。

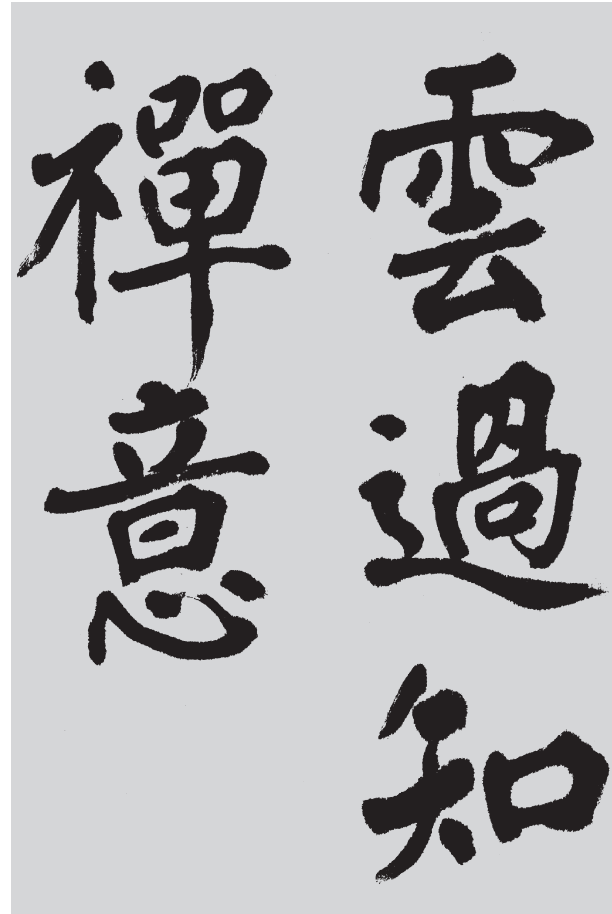
石原春香先生書

蟬の聲にはかに止みて山峡の夜明けむとする狭霧のうごき (平福百穂)
せみの聲者可にや三豆山峡農夜あ介むとする沙霧のうごき



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

漢字部課題参考 (八月二十二日締切)



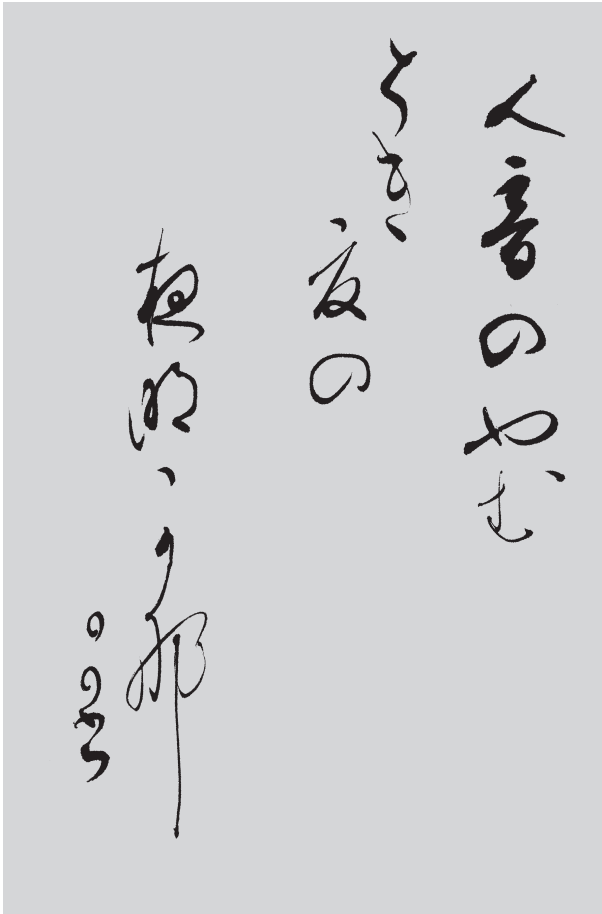
予告 昇試第三部漢字 (九月二十二日締切) 任重而道遠 (論語)

平岡華雪先生書
雲過ぎて禅意を知る。(莊宝書)
訳：雲が眼前をすぎのを見ても禅の意を知ることができる。

〈基本の徹底を〉
「之繞」「懸針」「下心」というむずかしい書き方のあ
る字の課題です。この三つは特に大切に、十分な練習を
必要とします。快筆の成果を期待しています。

(9)

かな部課題参考 (八月二十二日締切)



予告 昇試第三部かな (九月二十二日締切) 野分して蟬の少なき朝かな (子規)

平岡華雪先生書
人音のやむ時夏の夜明かな (蓼太)
人音のやむとき夏の夜明可那

〈四行のバランスに工夫を〉
筆を立て、細目にリズムに乗せて書く。変体
がなの「可・那」はのびのびと。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

- ①出品部門(例:「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考 (八月二十二日締切)



勝間 凜華 先生書

風連西極動 (杜甫)

風は西極に連なりて動き

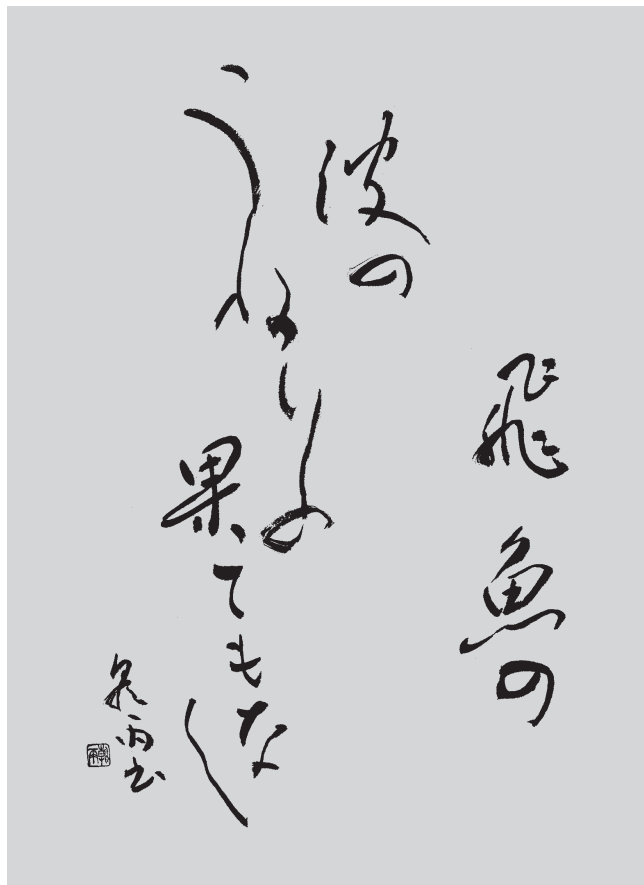
訳：吹く秋風は、西のはて、異民族の住む国からつながって、この秦州の地を響もす。

予告 昇試第一部漢字 (九月二十二日締切)

何時議築壇 (杜甫)

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

漢字かな交じりの書課題参考 (八月二十二日締切)



槍田 朝雨 先生書

飛魚の波のうねりの果てもなし (森田峠)

『新改訂版 俳諧歳時記 夏』(新潮社)

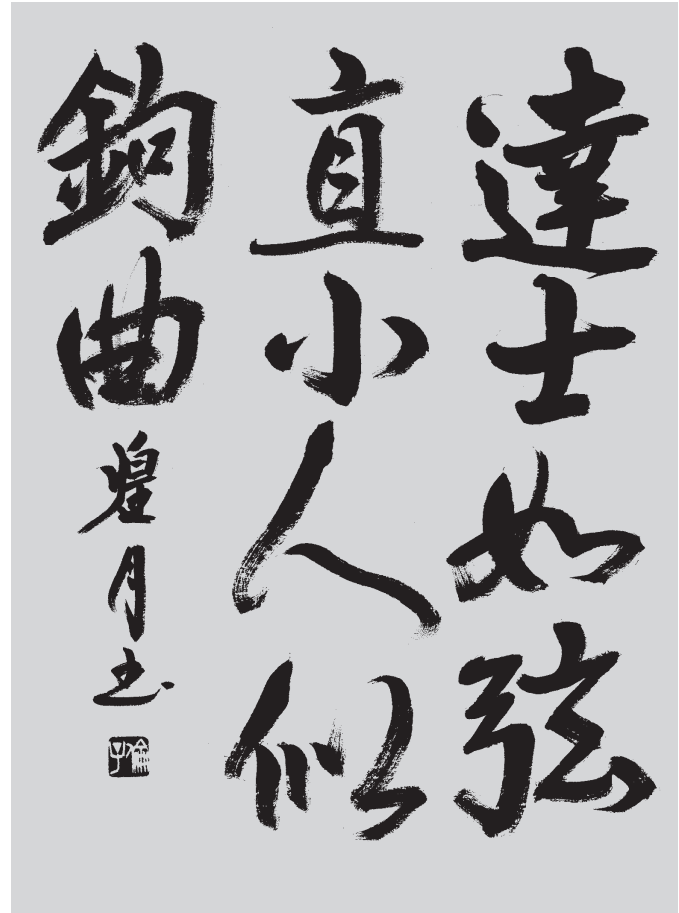
(9)

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随意部参考

町田煌月先生書

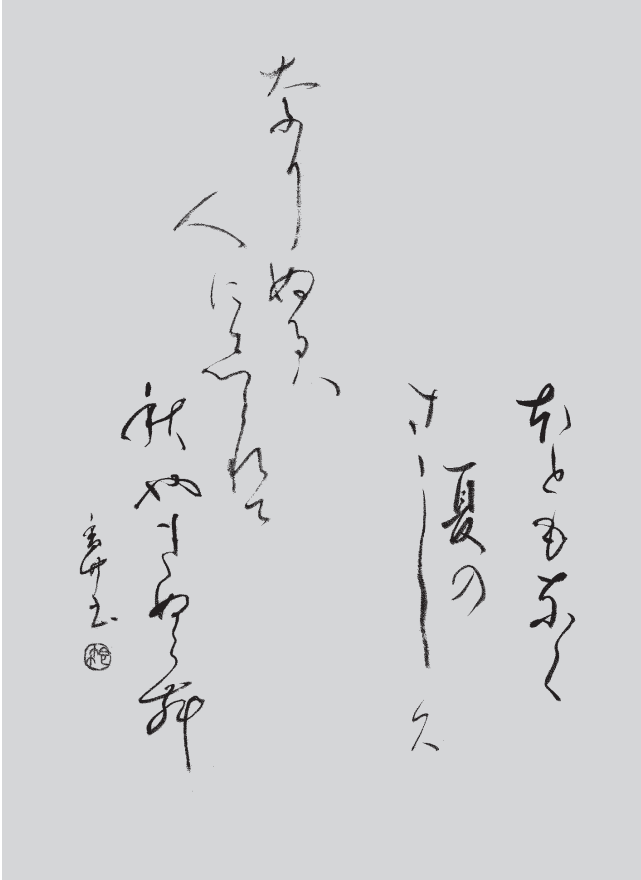
達士如弦直 小人似鉤曲 (杜子美)
達士は弦の直きが如く、小人は鉤の曲るに似たり。



訳：物事に通達せる人士は弓の弦がまっすぐなようであり、小人の心は釣針の様に曲っている。

青柳香竹先生書

程もなく夏の涼しくなりぬるは人にしられて秋やきぬらむ (藤原頼宗)
本とも奈く夏の寸々し久奈りぬる八人に志られて秋やきぬらむ



予告 昇試第二部かな (九月二十二日締切)

夜はあけて日はまださゝぬ窓の外の竹の露こそすゞしかりけれ

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例:「随意部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

赤木典子先生書

川上香蓉先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段以上)

妙高のふもと三里の高原
赤倉の野は雲につづく
夕べ静かなるおもいを抱いて
わたしは野におり立ちて見る

中尊阿弥陀は画面一杯の坐像である。
微妙な色調を持った暗色の地の上に、
おぼろに残った黄色の肌や余韻の多い、
暗紅の衣が浮き出ている。

課題1 (初段以上)

中尊阿弥陀は画面一杯の坐像である。微妙な色調を持った暗色の地の上に、おぼろに残った黄色の肌や余韻の多い暗紅の衣が浮き出ている。

『古寺巡礼』和辻哲郎

※6月号掲載(7月22日締切) 課題1の3行目冒頭は参考手本のとおりに「松柏年旧り」が正しく、活字の「松伯」は誤りです。お詫びして訂正いたします。

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に、次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段階以下)

妙高のふもと三里の高原
赤倉の野は雲につづく
夕べ静かなるおもいを抱いて
わたしは野におり立ちて見る

『赤倉』中谷吉郎